

令和5年度 旭川市立新町小学校 家庭学習の手引き

1 各種実態調査より

昨年度末に全学年で行ったC R T学力検査の結果では、国語も算数も、ほぼ全ての観点で全校平均が全国平均より上回り、学習していることがしっかり身に付いていることが分かりました。しかし、結果はあくまでも全校平均でのこと、得意不得意には個人差があります。新町っ子一人一人の学習の実態を把握し、学習習慣や生活習慣を見直し、これからも確かな学力の定着を図れるように、学校と家庭とが連携を図り指導していきましょう。

2 習慣化

学習習慣が生活のリズムに組み込まれることが「学習習慣が身に付く」ということです。家庭学習が特別のことではなく日常生活の一部になることが大切です。

3 主体的な学習

学校では、家庭学習の習慣化、学習内容の習熟を図るため宿題を出しています。しかしそれらは「出されたもの」です。学習することの大切さを考え、宿題以外に自ら進んで取り組むことを求められています。

宿題

○教師から子どもの学習状況に応じて定着、補充、発展のために与えられるもの。

【習慣化】毎日学習する習慣を付ける。

【習得】学習内容を確実に理解する。

○自分のために、自分で学習することができる子になるためのもの。

家庭学習

家庭学習は 学年×10分+10分を目安に！
「家庭学習の手引き」（子どもに配付）を参考にしてください。

- 1 時間を確保しましょう。
- 2 家庭に合った生活のリズムをつくりましょう。
- 3 子どもが勉強するときはテレビを消しましょう。
- 4 子どもが学習したことに目を通しましょう。
- 5 「先生に聞いてみたら？」は、大いに結構です。
分からないことは聞こうとすることが大切です。

環境と学習は関係しています！！



- 1 教科書をすらすら読めるくらい音読をしましょう。
- 2 ドリルやプリントを使って繰り返し練習しましょう。
- 3 自分の興味のある学習に粘り強く取り組みましょう。

「継続は力なり」～続けましょう！！



こんな言葉がやる気を引き出します！！

「教科書をすらすら読むことができました。」
「自分から勉強できたね。」「ていねいに書けたね。」



学校と家庭の連携で子どもの豊かな学びを支えていきましょう！